

授業科目	学科総合学習Ⅱ		担当教員	坂本 耕一		
対象年次・学期	2年・通年		必修・選択区分	必修	単位数	
授業形態			授業回数	30回	時間数	60時間
授業目的	学内・学外イベントの説明や準備、連絡事項の伝達、ビジネススキルなど学科の通常授業外に関わる こと全般を学習する。					
到達目標	学校生活全般に関わる内容を理解し、身につけることを目標とする。					
テキスト・ 参考図書等						
評価方法・ 評価基準	評価方法	評価割合(%)	評価基準			
	試験	0	授業への取り組み姿勢で評価します。			
	レポート	0				
	小テスト	0				
	提出物	0				
	その他	100				
履修上の 留意事項						
履修主題・ 履修内容	回	履修主題	履修内容			
	1	授業・イベント・就職等に 合わせた様々な取り組みを 実施	他の定例授業で補えない事項を実施する			
	2	授業・イベント・就職等に 合わせた様々な取り組みを 実施	他の定例授業で補えない事項を実施する			
	3	授業・イベント・就職等に 合わせた様々な取り組みを 実施	他の定例授業で補えない事項を実施する			
	4	授業・イベント・就職等に 合わせた様々な取り組みを 実施	他の定例授業で補えない事項を実施する			
	5	授業・イベント・就職等に 合わせた様々な取り組みを 実施	他の定例授業で補えない事項を実施する			
	6	授業・イベント・就職等に 合わせた様々な取り組みを 実施	他の定例授業で補えない事項を実施する			
	7	授業・イベント・就職等に 合わせた様々な取り組みを 実施	他の定例授業で補えない事項を実施する			
	8	授業・イベント・就職等に 合わせた様々な取り組みを 実施	他の定例授業で補えない事項を実施する			
	9	授業・イベント・就職等に 合わせた様々な取り組みを 実施	他の定例授業で補えない事項を実施する			
	10	授業・イベント・就職等に 合わせた様々な取り組みを 実施	他の定例授業で補えない事項を実施する			
	11	授業・イベント・就職等に 合わせた様々な取り組みを 実施	他の定例授業で補えない事項を実施する			
	12	授業・イベント・就職等に 合わせた様々な取り組みを 実施	他の定例授業で補えない事項を実施する			

[illegible]

[illegible]

授業科目	共同開発I		担当教員	坂本 耕一		
対象年次・学期	2年・前期		必修・選択区分	必修	単位数	
授業形態			授業回数	30回	時間数	60時間
授業目的	1年次前期、後期前半までに学習してきたシステム開発の一通りの基礎知識をもとにシステムの実践開発に進みます。新たな技術課題にもチャレンジし、完成させることが目的です。教員のアドバイスも受けながら実践します。					
到達目標	システムの開発方法を一通り身に付けること。新たな技術課題にもチャレンジしシステムを教員の指導を仰ぎながら完成させること					
テキスト・参考図書等	特になし					
評価方法・評価基準	評価方法	評価割合(%)	評価基準			
	試験	0	課題提出・授業中の取り組み姿勢で評価する。 新たな技術課題に対して進んで取り組むこと			
	レポート	0				
	小テスト	0				
	提出物	80				
	その他	20				
履修上の留意事項	制作物を提出しなければ評価できません。授業時間外も活用して完成できるように取り組みましょう。新たな技術課題に対して進んで取り組むこと。					
履修主題・履修内容	回	履修主題	履修内容			
	1	要件定義	設定した新たな技術課題によるシステムの作成（新たな技術課題を使って問題解決します）			
	2	設計書の作成	設定した新たな技術課題によるシステムの作成（新たな技術課題を使って問題解決します）			
	3	設計書の作成	設定した新たな技術課題によるシステムの作成（新たな技術課題を使って問題解決します）			
	4	設計書の作成	設定した新たな技術課題によるシステムの作成（新たな技術課題を使って問題解決します）			
	5	設計書の作成	設定した新たな技術課題によるシステムの作成（新たな技術課題を使って問題解決します）			
	6	設計書の作成	設定した新たな技術課題によるシステムの作成（新たな技術課題を使って問題解決します）			
	7	設計書の作成	設定した新たな技術課題によるシステムの作成（新たな技術課題を使って問題解決します）			
	8	設計書の作成	設定した新たな技術課題によるシステムの作成（新たな技術課題を使って問題解決します）			
	9	設計書の作成	設定した新たな技術課題によるシステムの作成（新たな技術課題を使って問題解決します）			
	10	コーディング	設定した新たな技術課題によるシステムの作成（新たな技術課題を使って問題解決します）			
	11	コーディング	設定した新たな技術課題によるシステムの作成（新たな技術課題を使って問題解決します）			
	12	コーディング	設定した新たな技術課題によるシステムの作成（新たな技術課題を使って問題解決します）			
	13	コーディング	設定した新たな技術課題によるシステムの作成（新たな技術課題を使って問題解決します）			
	14	コーディング	設定した新たな技術課題によるシステムの作成（新たな技術課題を使って問題解決します）			
	15	コーディング	設定した新たな技術課題によるシステムの作成（新たな技術課題を使って問題解決します）			
	16	コーディング	設定した新たな技術課題によるシステムの作成（新たな技術課題を使って問題解決します）			
	17	コーディング	設定した新たな技術課題によるシステムの作成（新たな技術課題を使って問題解決します）			
	18	コーディング	設定した新たな技術課題によるシステムの作成（新たな技術課題を使って問題解決します）			

	19	コーディング	設定した新たな技術課題によるシステムの作成（新たな技術課題を使って問題解決します）
	20	コーディング	設定した新たな技術課題によるシステムの作成（新たな技術課題を使って問題解決します）
	21	テスト実施・バグ対応	設定した新たな技術課題によるシステムの作成（新たな技術課題を使って問題解決します）
	22	テスト実施・バグ対応	設定した新たな技術課題によるシステムの作成（新たな技術課題を使って問題解決します）
	23	テスト実施・バグ対応	設定した新たな技術課題によるシステムの作成（新たな技術課題を使って問題解決します）
	24	テスト実施・バグ対応	設定した新たな技術課題によるシステムの作成（新たな技術課題を使って問題解決します）
	25	テスト実施・バグ対応	設定した新たな技術課題によるシステムの作成（新たな技術課題を使って問題解決します）
	26	テスト実施・バグ対応	設定した新たな技術課題によるシステムの作成（新たな技術課題を使って問題解決します）
	27	テスト実施・バグ対応	設定した新たな技術課題によるシステムの作成（新たな技術課題を使って問題解決します）
	28	テスト実施・バグ対応	設定した新たな技術課題によるシステムの作成（新たな技術課題を使って問題解決します）
	29	テスト実施・バグ対応	設定した新たな技術課題によるシステムの作成（新たな技術課題を使って問題解決します）
	30	成果物レビュー	設定した新たな技術課題によるシステムの作成（新たな技術課題を使って問題解決します）

[illegible]

授業科目	共同開発II		担当教員	坂本 耕一		
対象年次・学期	2年・後期		必修・選択区分	必修	単位数	
授業形態			授業回数	30回	時間数	60時間
授業目的	1年次前期、後期前半までに学習してきたシステム開発の一通りの基礎知識をもとにシステムの実践開発に進みます。新たな技術課題にもチャレンジし、完成させることが目的です。教員のアドバイスも受けながら実践します。					
到達目標	システムの開発方法を一通り身に付けること。新たな技術課題にもチャレンジしシステムを教員の指導を仰ぎながら完成させること。					
テキスト・参考図書等	特になし					
評価方法・評価基準	評価方法	評価割合(%)	評価基準			
	試験	0	レポートと課題提出・授業中の取り組み姿勢で評価する。 新たな技術課題に対して進んで取り組むこと			
	レポート	20				
	小テスト	0				
	提出物	60				
	その他	20				
履修上の留意事項	制作物を提出しなければ評価できません。授業時間外も活用して完成できるように取り組みましょう。新たな技術課題に対して進んで取り組むこと。					
履修主題・履修内容	回	履修主題	履修内容			
	1	要件定義の理解	設定した新たな技術課題によるシステムの作成（新たな技術課題を使って問題解決します）			
	2	設計書の作成	設定した新たな技術課題によるシステムの作成（新たな技術課題を使って問題解決します）			
	3	設計書の作成	設定した新たな技術課題によるシステムの作成（新たな技術課題を使って問題解決します）			
	4	設計書の作成	設定した新たな技術課題によるシステムの作成（新たな技術課題を使って問題解決します）			
	5	設計書の作成	設定した新たな技術課題によるシステムの作成（新たな技術課題を使って問題解決します）			
	6	設計書の作成	設定した新たな技術課題によるシステムの作成（新たな技術課題を使って問題解決します）			
	7	設計書の作成	設定した新たな技術課題によるシステムの作成（新たな技術課題を使って問題解決します）			
	8	設計書の作成	設定した新たな技術課題によるシステムの作成（新たな技術課題を使って問題解決します）			
	9	設計書の作成	設定した新たな技術課題によるシステムの作成（新たな技術課題を使って問題解決します）			
	10	コーディング	設定した新たな技術課題によるシステムの作成（新たな技術課題を使って問題解決します）			
	11	コーディング	設定した新たな技術課題によるシステムの作成（新たな技術課題を使って問題解決します）			
	12	コーディング	設定した新たな技術課題によるシステムの作成（新たな技術課題を使って問題解決します）			
	13	コーディング	設定した新たな技術課題によるシステムの作成（新たな技術課題を使って問題解決します）			
	14	コーディング	設定した新たな技術課題によるシステムの作成（新たな技術課題を使って問題解決します）			
	15	コーディング	設定した新たな技術課題によるシステムの作成（新たな技術課題を使って問題解決します）			
	16	コーディング	設定した新たな技術課題によるシステムの作成（新たな技術課題を使って問題解決します）			
	17	コーディング	設定した新たな技術課題によるシステムの作成（新たな技術課題を使って問題解決します）			
	18	コーディング	設定した新たな技術課題によるシステムの作成（新たな技術課題を使って問題解決します）			

	19	コーディング	設定した新たな技術課題によるシステムの作成（新たな技術課題を使って問題解決します）
	20	コーディング	設定した新たな技術課題によるシステムの作成（新たな技術課題を使って問題解決します）
	21	テスト実施・バグ対応	設定した新たな技術課題によるシステムの作成（新たな技術課題を使って問題解決します）
	22	テスト実施・バグ対応	設定した新たな技術課題によるシステムの作成（新たな技術課題を使って問題解決します）
	23	テスト実施・バグ対応	設定した新たな技術課題によるシステムの作成（新たな技術課題を使って問題解決します）
	24	テスト実施・バグ対応	設定した新たな技術課題によるシステムの作成（新たな技術課題を使って問題解決します）
	25	テスト実施・バグ対応	設定した新たな技術課題によるシステムの作成（新たな技術課題を使って問題解決します）
	26	テスト実施・バグ対応	設定した新たな技術課題によるシステムの作成（新たな技術課題を使って問題解決します）
	27	テスト実施・バグ対応	設定した新たな技術課題によるシステムの作成（新たな技術課題を使って問題解決します）
	28	テスト実施・バグ対応	設定した新たな技術課題によるシステムの作成（新たな技術課題を使って問題解決します）
	29	テスト実施・バグ対応	設定した新たな技術課題によるシステムの作成（新たな技術課題を使って問題解決します）
	30	成果物レビュー	設定した新たな技術課題によるシステムの作成（新たな技術課題を使って問題解決します）

[illegible]

授業科目	コンピュータリテラシーⅢ		担当教員	坂本 耕一	
対象年次・学期	2年・前期		必修・選択区分	必修	単位数
授業形態			授業回数	23回	時間数 45時間
授業目的	基本情報技術者試験のシステム開発技術分野（データベース・ネットワーク・情報セキュリティ）の学習				
到達目標	基本情報技術者試験のマネジメントと情報化の理解				
テキスト・参考図書等	システム開発技術（ウィネット）				
評価方法・評価基準	評価方法	評価割合(%)	評価基準		
	試験	50	評価試験、レポートと課題提出・授業中の取り組み姿勢で評価する。		
	レポート	0			
	小テスト	20			
	提出物	10			
	その他	20			
履修上の留意事項					
履修主題・履修内容	回	履修主題	履修内容		
	1	システム開発とマネジメント	システム開発とは システム設計、ソフトウェア設計		
	2	システム開発とマネジメント	プロジェクトマネジメント		
	3	サービスマネジメントとシステム戦略	サービスマネジメント		
	4	サービスマネジメントとシステム戦略	企業におけるシステム戦略		
	5	企業と経営戦略	企業活動		
	6	企業と経営戦略	ビジネス戦略		
	7	OR/IE	応用数学		
	8	OR/IE	OR/IE		
	9	企業会計	企業会計		
	10	企業会計	財務諸表		
	11	法務と標準化	知的財産と標準化		
	12	法務と標準化	知的財産と標準化		
	13	問題演習	問題演習		
	14	問題演習	問題演習		
	15	問題演習	問題演習		
	16	問題演習	問題演習		
	17	問題演習	問題演習		
	18	問題演習	問題演習		
	19	問題演習	問題演習		
	20	問題演習	問題演習		
	21	問題演習	問題演習		
	22	問題演習	問題演習		

	23	問題演習	問題演習
--	----	------	------

[illegible]

授業科目	基本情報対策I		担当教員	坂本 耕一	
対象年次・学期	2年・前期		必修・選択区分	必修	単位数
授業形態			授業回数	30回	時間数 60時間
授業目的	国家試験（基本情報技術者試験）の合格に向けた、科目A試験・科目B試験の講義と問題演習をすることが目的です。				
到達目標	国家試験（基本情報技術者試験）の合格				
テキスト・参考図書等	科目Aテキストセット+アルゴリズムとデータ構造（ウィネット）				
評価方法・評価基準	評価方法	評価割合(%)	評価基準		
	試験	0	「小テスト」は授業内で行う模擬試験等の結果 「提出物」は課題で取り組む問題演習の結果 その他授業中の取り組み姿勢で評価する。		
	レポート	0			
	小テスト	30			
	提出物	40			
	その他	30			
履修上の留意事項					
履修主題・履修内容	回	履修主題	履修内容		
	1	試験対策	授業内容国家試験（基本情報技術者試験等）の科目A試験対策		
	2	試験対策	授業内容国家試験（基本情報技術者試験等）の科目A試験対策		
	3	試験対策	授業内容国家試験（基本情報技術者試験等）の科目A試験対策		
	4	試験対策	授業内容国家試験（基本情報技術者試験等）の科目A試験対策		
	5	試験対策	授業内容国家試験（基本情報技術者試験等）の科目A試験対策		
	6	試験対策	授業内容国家試験（基本情報技術者試験等）の科目A試験対策		
	7	試験対策	授業内容国家試験（基本情報技術者試験等）の科目A試験対策		
	8	試験対策	授業内容国家試験（基本情報技術者試験等）の科目A試験対策		
	9	試験対策	授業内容国家試験（基本情報技術者試験等）の科目A試験対策		
	10	試験対策	授業内容国家試験（基本情報技術者試験等）の科目A試験対策		
	11	試験対策	授業内容国家試験（基本情報技術者試験等）の科目A試験対策		
	12	試験対策	授業内容国家試験（基本情報技術者試験等）の科目A試験対策		
	13	試験対策	授業内容国家試験（基本情報技術者試験等）の科目A試験対策		
	14	試験対策	授業内容国家試験（基本情報技術者試験等）の科目A試験対策		
	15	試験対策	授業内容国家試験（基本情報技術者試験等）の科目A試験対策		
	16	試験対策	授業内容国家試験（基本情報技術者試験等）の科目A試験対策		
	17	試験対策	授業内容国家試験（基本情報技術者試験等）の科目A試験対策		
	18	試験対策	授業内容国家試験（基本情報技術者試験等）の科目A試験対策		

	19	試験対策	授業内容国家試験（基本情報技術者試験等）の科目A試験対策
	20	試験対策	授業内容国家試験（基本情報技術者試験等）の科目A試験対策
	21	試験対策	授業内容国家試験（基本情報技術者試験等）の科目A試験対策
	22	試験対策	授業内容国家試験（基本情報技術者試験等）の科目A試験対策
	23	試験対策	授業内容国家試験（基本情報技術者試験等）の科目A試験対策
	24	試験対策	授業内容国家試験（基本情報技術者試験等）の科目A試験対策
	25	試験対策	授業内容国家試験（基本情報技術者試験等）の科目A試験対策
	26	試験対策	授業内容国家試験（基本情報技術者試験等）の科目A試験対策
	27	試験対策	授業内容国家試験（基本情報技術者試験等）の科目A試験対策
	28	試験対策	授業内容国家試験（基本情報技術者試験等）の科目A試験対策
	29	試験対策	授業内容国家試験（基本情報技術者試験等）の科目A試験対策
	30	試験対策	授業内容国家試験（基本情報技術者試験等）の科目A試験対策

[illegible]

授業科目	基本情報対策Ⅱ		担当教員	坂本 耕一	
対象年次・学期	2年・前期		必修・選択区分	必修	単位数
授業形態			授業回数	30回	時間数 60時間
授業目的	国家試験（基本情報技術者試験）の合格に向けた、科目A試験・科目B試験の講義と問題演習をすることが目的です。				
到達目標	国家試験（基本情報技術者試験）の合格				
テキスト・参考図書等	科目Aテキストセット+アルゴリズムとデータ構造（ウィネット）				
評価方法・評価基準	評価方法	評価割合(%)	評価基準		
	試験	0	「小テスト」は授業内で行う模擬試験等の結果 「提出物」は課題で取り組む問題演習の結果 その他授業中の取り組み姿勢で評価する。		
	レポート	0			
	小テスト	30			
	提出物	40			
	その他	30			
履修上の留意事項					
履修主題・履修内容	回	履修主題	履修内容		
	1	試験対策	授業内容国家試験（基本情報技術者試験等）の科目A試験対策		
	2	試験対策	授業内容国家試験（基本情報技術者試験等）の科目A試験対策		
	3	試験対策	授業内容国家試験（基本情報技術者試験等）の科目A試験対策		
	4	試験対策	授業内容国家試験（基本情報技術者試験等）の科目A試験対策		
	5	試験対策	授業内容国家試験（基本情報技術者試験等）の科目A試験対策		
	6	試験対策	授業内容国家試験（基本情報技術者試験等）の科目A試験対策		
	7	試験対策	授業内容国家試験（基本情報技術者試験等）の科目A試験対策		
	8	試験対策	授業内容国家試験（基本情報技術者試験等）の科目A試験対策		
	9	試験対策	授業内容国家試験（基本情報技術者試験等）の科目A試験対策		
	10	試験対策	授業内容国家試験（基本情報技術者試験等）の科目A試験対策		
	11	試験対策	授業内容国家試験（基本情報技術者試験等）の科目A試験対策		
	12	試験対策	授業内容国家試験（基本情報技術者試験等）の科目A試験対策		
	13	試験対策	授業内容国家試験（基本情報技術者試験等）の科目A試験対策		
	14	試験対策	授業内容国家試験（基本情報技術者試験等）の科目A試験対策		
	15	試験対策	授業内容国家試験（基本情報技術者試験等）の科目A試験対策		
	16	試験対策	授業内容国家試験（基本情報技術者試験等）の科目A試験対策		
	17	試験対策	授業内容国家試験（基本情報技術者試験等）の科目A試験対策		
	18	試験対策	授業内容国家試験（基本情報技術者試験等）の科目A試験対策		

	19	試験対策	授業内容国家試験（基本情報技術者試験等）の科目A試験対策
	20	試験対策	授業内容国家試験（基本情報技術者試験等）の科目A試験対策
	21	試験対策	授業内容国家試験（基本情報技術者試験等）の科目A試験対策
	22	試験対策	授業内容国家試験（基本情報技術者試験等）の科目A試験対策
	23	試験対策	授業内容国家試験（基本情報技術者試験等）の科目A試験対策
	24	試験対策	授業内容国家試験（基本情報技術者試験等）の科目A試験対策
	25	試験対策	授業内容国家試験（基本情報技術者試験等）の科目A試験対策
	26	試験対策	授業内容国家試験（基本情報技術者試験等）の科目A試験対策
	27	試験対策	授業内容国家試験（基本情報技術者試験等）の科目A試験対策
	28	試験対策	授業内容国家試験（基本情報技術者試験等）の科目A試験対策
	29	試験対策	授業内容国家試験（基本情報技術者試験等）の科目A試験対策
	30	試験対策	授業内容国家試験（基本情報技術者試験等）の科目A試験対策

[illegible]

授業科目	基本情報対策Ⅲ		担当教員	坂本 耕一	
対象年次・学期	2年・前期		必修・選択区分	必修	単位数
授業形態			授業回数	38回	時間数 75時間
授業目的	国家試験（基本情報技術者試験）の合格に向けた、科目B試験の講義と問題演習をすることが目的です。				
到達目標	国家試験（基本情報技術者試験）の合格				
テキスト・参考図書等	アルゴリズムとデータ構造（ウイネット）				
評価方法・評価基準	評価方法	評価割合(%)	評価基準		
	試験	0	「小テスト」は授業内で行う模擬試験等の結果 「提出物」は課題で取り組む問題演習の結果 その他授業中の取り組み姿勢で評価する。		
	レポート	0			
	小テスト	30			
	提出物	40			
	その他	30			
履修上の留意事項					
履修主題・履修内容	回	履修主題	履修内容		
	1	試験対策	国家試験（基本情報技術者試験）の直前対策		
	2	試験対策	国家試験（基本情報技術者試験）の直前対策		
	3	試験対策	国家試験（基本情報技術者試験）の直前対策		
	4	試験対策	国家試験（基本情報技術者試験）の直前対策		
	5	試験対策	国家試験（基本情報技術者試験）の直前対策		
	6	試験対策	国家試験（基本情報技術者試験）の直前対策		
	7	試験対策	国家試験（基本情報技術者試験）の直前対策		
	8	試験対策	国家試験（基本情報技術者試験）の直前対策		
	9	試験対策	国家試験（基本情報技術者試験）の直前対策		
	10	試験対策	国家試験（基本情報技術者試験）の直前対策		
	11	試験対策	国家試験（基本情報技術者試験）の直前対策		
	12	試験対策	国家試験（基本情報技術者試験）の直前対策		
	13	試験対策	国家試験（基本情報技術者試験）の直前対策		
	14	試験対策	国家試験（基本情報技術者試験）の直前対策		
	15	試験対策	国家試験（基本情報技術者試験）の直前対策		
	16	試験対策	国家試験（基本情報技術者試験）の直前対策		
	17	試験対策	国家試験（基本情報技術者試験）の直前対策		
	18	試験対策	国家試験（基本情報技術者試験）の直前対策		
	19	試験対策	国家試験（基本情報技術者試験）の直前対策		
	20	試験対策	国家試験（基本情報技術者試験）の直前対策		
	21	試験対策	国家試験（基本情報技術者試験）の直前対策		
	22	試験対策	国家試験（基本情報技術者試験）の直前対策		
	23	試験対策	国家試験（基本情報技術者試験）の直前対策		

	24	試験対策	国家試験（基本情報技術者試験）の直前対策
	25	試験対策	国家試験（基本情報技術者試験）の直前対策
	26	試験対策	国家試験（基本情報技術者試験）の直前対策
	27	試験対策	国家試験（基本情報技術者試験）の直前対策
	28	試験対策	国家試験（基本情報技術者試験）の直前対策
	29	試験対策	国家試験（基本情報技術者試験）の直前対策
	30	試験対策	国家試験（基本情報技術者試験）の直前対策
	31	試験対策	国家試験（基本情報技術者試験）の直前対策
	32	試験対策	国家試験（基本情報技術者試験）の直前対策
	33	試験対策	国家試験（基本情報技術者試験）の直前対策
	34	試験対策	国家試験（基本情報技術者試験）の直前対策
	35	試験対策	国家試験（基本情報技術者試験）の直前対策
	36	試験対策	国家試験（基本情報技術者試験）の直前対策
	37	試験対策	国家試験（基本情報技術者試験）の直前対策
	38	試験対策	国家試験（基本情報技術者試験）の直前対策

[illegible]

授業科目	クラウドサーバー基礎		担当教員	佐々木 博幸	
対象年次・学期	2年・通年		必修・選択区分		単位数
授業形態			授業回数	38回	時間数 75時間
授業目的	AWS上に「イントラネット/インターネットサーバを構築・管理するための技術」や「サーバを管理・運用していくためのセキュリティ対策」などを学習する。				
到達目標	AWSのクラウドサービスを使って基本的なサーバ管理とサービスの構築運用ができること				
テキスト・参考図書等					
評価方法・評価基準	評価方法	評価割合(%)	評価基準		
	試験	0	AWSコンソールを使用した設定ファイル・サーバー稼働確認の課題の提出とレポート・小テスト・授業中の取り組み姿勢で評価する。		
	レポート	10			
	小テスト	10			
	提出物	60			
	その他	20			
履修上の留意事項	AWSコンソールの利用方法と各種サービスの理解を進めてください。				
履修主題・履修内容	回	履修主題	履修内容		
	1	VPCとは	VPCの構築と意味を理解します。		
	2	EC2によるWebサーバー構築	VPC上にEC2インスタンスを起動します。		
	3	VPCによるパブリックネットワーク、プライベートネットワーク	パブリックネットワークとプライベートネットワークでセキュアな環境を構築します。		
	4	AWS上にWordPressを構築する 1	VPCとEC2によるシステムを構築します。		
	5	AWS上にWordPressを構築する 2	VPCとEC2によるシステムを構築します。		
	6	AWS上にWordPressを構築する 3	VPCとEC2によるシステムを構築します。		
	7	構築したWordPressに作品を作る 1	クラウド上のシステムの運用方法を理解します。		
	8	構築したWordPressに作品を作る 2	クラウド上のシステムの運用方法を理解します。		
	9	AWS Academy Cloud Developing	クラウド上の開発環境を構築します。		
	10	システムのサーバーレス設計	サーバーレスシステムの設計を行います		
	11	システムのサーバーレス設計	サーバーレスシステムの設計を行います		
	12	システムのサーバーレス設計	サーバーレスシステムの設計を行います		
	13	DynamoDB	NoSQLデータベースの基本を理解します。		
	14	Lambda	サーバーレス環境のプログラミングを理解します。		
	15	API Gateway	LambdaとDynamoDBによるシステムを呼び出します。		
	16	Dockerコンテナ	ECSによるコンテナ利用技術を学びます。		
	17	Dockerコンテナ	ECSによるコンテナ利用技術を学びます。		
	18	Dockerコンテナ	ECSによるコンテナ利用技術を学びます。		
	19	コンテナ上にWordPressを構築	ECSを使ってシステムを構築します。		

	20	コンテナ上にWordPressを構築	ECSを使ってシステムを構築します。
	21	コンテナ上にWordPressを構築	ECSを使ってシステムを構築します。
	22	クラウドその他の機能	AWSのサービスの理解を深めます。
	23	クラウドその他の機能	AWSのサービスの理解を深めます。
	24	Webサーバーの暗号化	サーバーの暗号化通信を理解します。
	25	アプリケーションサーバーの構築と設定	クラウドを使ったアプリケーションサーバーの構築を理解します。
	26	OSSサーバーソフトのコンパイル	サーバーソフトをソースコードから導入します。
	27	様々なサービスと連携したアプリケーションの設計	クラウドを使ったアプリケーションのベストプラクティスについて理解します。
	28	サービスの設計と構築	クラウドを使ったサービスの設計と実装を行います。
	29	サービスの設計と構築	クラウドを使ったサービスの設計と実装を行います。
	30	サービスの設計と構築	クラウドを使ったサービスの設計と実装を行います。
	31	サービスの設計と構築	クラウドを使ったサービスの設計と実装を行います。
	32	サービスの設計と構築	クラウドを使ったサービスの設計と実装を行います。
	33	サービスの設計と構築	クラウドを使ったサービスの設計と実装を行います。
	34	サービスの設計と構築	クラウドを使ったサービスの設計と実装を行います。
	35	サービスの設計と構築	クラウドを使ったサービスの設計と実装を行います。
	36	サービスの設計と構築	クラウドを使ったサービスの設計と実装を行います。
	37	サービスの設計と構築	クラウドを使ったサービスの設計と実装を行います。
	38	サービスの設計と構築	クラウドを使ったサービスのデプロイと提出を行っていただきます。

[illegible]

授業科目	データ分析基礎		担当教員	坂本 耕一	
対象年次・学期	2年・後期		必修・選択区分	必修	単位数
授業形態			授業回数	23回	時間数 45時間
授業目的	データ分析に必要な知識を学ぶとともに、Pythonのデータ分析ツールの使い方を学ぶ。				
到達目標	データ分析エンジニアが持つべき知識や技術を理解している。				
テキスト・参考図書等	Pythonによるあたらしいデータ分析の教科書				
評価方法・評価基準	評価方法	評価割合(%)	評価基準		
	試験	40	レポート課題及び評価試験の結果、授業での取り組み姿勢を総合的に判断したうえで評価する。		
	レポート	0			
	小テスト	0			
	提出物	40			
	その他	20			
履修上の留意事項					
履修主題・履修内容	回	履修主題	履修内容		
	1	データ分析エンジニアの役割	データ分析の世界、機械学習の位置づけ		
	2	Pythonと環境	環境準備		
	3	数学の基礎	基礎知識		
	4	数学の基礎	線形代数、基礎解析		
	5	数学の基礎	確率と統計		
	6	ライブラリによる分析の実践	NumPy		
	7	ライブラリによる分析の実践	NumPy		
	8	ライブラリによる分析の実践	pandas		
	9	ライブラリによる分析の実践	pandas		
	10	ライブラリによる分析の実践	Matplotlib		
	11	ライブラリによる分析の実践	Matplotlib		
	12	ライブラリによる分析の実践	scikit-learn		
	13	ライブラリによる分析の実践	scikit-learn		
	14	データ収集と加工	スクレイピング		
	15	データ収集と加工	スクレイピング		
	16	データ収集と加工	自然言語処理		
	17	データ収集と加工	自然言語処理		
	18	データ収集と加工	画像データの処理		
	19	データ収集と加工	画像データの処理		
	20	総まとめレポート課題	総まとめレポート		

	21	総まとめレポート課題	総まとめレポート
	22	総まとめレポート課題	総まとめレポート
	23	総まとめレポート課題	総まとめレポート

[illegible]

授業科目	IoT基礎		担当教員	福田 和宏	
対象年次・学期	2年・前期		必修・選択区分	必修	単位数
授業形態			授業回数	38回	時間数 75時間
授業目的	回路やマイコンなどを利用しIoTの基本を学ぶ				
到達目標	電子回路の基本と、マイコンでの基本的な電子パーツをプログラムで制御ができること				
テキスト・参考図書等	最新Pico W対応！ラズパイPico完全ガイド 日経BP				
評価方法・評価基準	評価方法	評価割合(%)	評価基準		
	試験	0			
	レポート	0			
	小テスト	20			
	提出物	70			
	その他	10			
履修上の留意事項					
履修主題・履修内容	回	履修主題	履修内容		
	1	イントロ IoT概要	IoTの概要を説明する。		
	2	電子部とは	電子部品の概要を説明する。また、配線について理解する		
	3	はんだ付け、配線加工演習	電子パーツの半田付けと配線製作といった電子工作の基本をできるようにする		
	4	はんだ付け、配線加工演習	電子パーツの半田付けと配線製作といった電子工作の基本をできるようにする		
	5	テスターの使い方	テスターで電圧、電流、抵抗を計測する方法。実際に計測してみる。		
	6	電子部品を動かす	電池を利用してLEDやモーター、ボリューム、スイッチなどを使って動かしてみる		
	7	電子回路読解	提示された電子回路から回路を作成する。逆に接続図から電子回路を描く		
	8	電子回路読解	提示された電子回路から回路を作成する。逆に接続図から電子回路を描く		
	9	数学基礎	数式計算、比、一次方程式、連立方程式等の解き方の確認		
	10	電子回路基礎	電圧、電流、抵抗、キルヒホッフ、オームの法則など電子回路の基礎を学ぶ		
	11	開発環境の準備とPythonの実行	Pythonの実行環境を準備し、Picoでプログラムを実行する方法を理解する		
	12	LEDの制御	LEDについての基本を理解する。デジタル出力について学ぶ		
	13	トランジスタを利用したLEDの制御	大電流、高電圧で電子部品を制御するためにトランジスタを利用する方法について理解する		
	14	スイッチの入力	スイッチについての基本を理解する。デジタル入力について学ぶ		
	15	電子パーツの組み合わせる	LEDとスイッチを組み合わせる		
	16	DCモーターの制御	Hブリッジ回路について説明し、モータードライバーを利用してモーターを動かす		
	17	PWM出力	PWM出力の原理について理解する		
	18	サーボモーターの制御	PWMで出力した矩形波でサーボモーターを制御する		
	19	ボリュームの状態を読み取る	アナログ入力について説明する。ADCの原理についても説明する		
	20	電子パーツを組み合わせる	今まで理解した電子パーツを組み合わせで動作させる		

	21	温度センサー、焦電赤外線センサー、フォトトランジスター	センサーについての解説。温度センサー、焦電赤外線センサー、フォトトランジスターを動作させる
	22	温度センサー、焦電赤外線センサー、フォトトランジスター	センサーについての解説。温度センサー、焦電赤外線センサー、フォトトランジスターを動作させる
	23	デジタル通信	デジタル通信についての概要を説明。I2C、SPI、UARTについてどのように通信するかを説明する
	24	温度センサー	I2C接続の温度センサーを利用してみる
	25	距離センサー	超音波センサーで距離を計測してみる
	26	7セグメントLED	7セグメントLEDに数値を表示する
	27	ダイナミック制御	ダイナミック制御で4桁の7セグメントLEDに数値を表示する
	28	ディスプレイ表示	有機グラフィックディスプレイに表示する手法を理解する
	29	ネットワーク通信	Picoで無線LANネットワークに接続し、通信を実現する
	30	ネットワーク通信	Picoで無線LANネットワークに接続し、通信を実現する
	31	ネットワーク通信	Picoで無線LANネットワークに接続し、通信を実現する
	32	ネットワーク通信	Picoで無線LANネットワークに接続し、通信を実現する
	33	作品を作るには	思い描いたアイデアをどのようにして実現するかの手順を説明する
	34	総合課題演習	課題を出題し、Raspberry Pi Picoを利用して実現する
	35	総合課題演習	課題を出題し、Raspberry Pi Picoを利用して実現する
	36	総合課題演習	課題を出題し、Raspberry Pi Picoを利用して実現する
	37	総合課題演習	課題を出題し、Raspberry Pi Picoを利用して実現する
	38	総合課題演習	課題を出題し、Raspberry Pi Picoを利用して実現する

[illegible]

授業科目	チーム実践開発I		担当教員	坂本 耕一	
対象年次・学期	2年・前期		必修・選択区分	必修	単位数
授業形態			授業回数	38回	時間数 75時間
授業目的	この授業はこれまでに学んだ学習スキルを生かして、企業や団体とともにシステム開発に取り組む「超実践プロジェクト」です。担当企業は顧客ユーザーと指導講師とを兼任します。システム開発に関する方法だけでなく、チームでの仕事の進め方や、企業で求められるビジネスマナーについても学ぶことも目的の一つである。				
到達目標	企業や団体から提案されたWebシステムを完成させること				
テキスト・参考図書等	特になし				
評価方法・評価基準	評価方法	評価割合(%)	評価基準		
	試験	0	レポートと課題提出・授業中の取り組み姿勢で評価する。		
	レポート	40			
	小テスト	0			
	提出物	40			
	その他	20			
履修上の留意事項	チーム制作はグループで取り組む内容になります。一人一人がコミュニケーション（報告・連絡・確認・相談）をしっかり意識し、決められた期限の中で必ず終了し、最終の報告プレゼンテーションに臨んでください。				
履修主題・履修内容	回	履修主題	履修内容		
	1	チームでのシステム開発（産学連携）	アプリケーション開発のための事前学習期間		
	2	チームでのシステム開発（産学連携）	アプリケーション開発のための事前学習期間		
	3	チームでのシステム開発（産学連携）	アプリケーション開発のための事前学習期間		
	4	チームでのシステム開発（産学連携）	アプリケーション開発のための事前学習期間		
	5	チームでのシステム開発（産学連携）	アプリケーション開発のための事前学習期間		
	6	チームでのシステム開発（産学連携）	アプリケーション開発のための事前学習期間		
	7	チームでのシステム開発（産学連携）	アプリケーション開発のための事前学習期間		
	8	チームでのシステム開発（産学連携）	アプリケーション開発のための事前学習期間		
	9	チームでのシステム開発（産学連携）	アプリケーション開発のための事前学習期間		
	10	チームでのシステム開発（産学連携）	アプリケーション開発のための事前学習期間		
	11	チームでのシステム開発（産学連携）	アプリケーション開発のための事前学習期間		
	12	チームでのシステム開発（産学連携）	アプリケーション開発のための事前学習期間		
	13	チームでのシステム開発（産学連携）	①要件定義		
	14	チームでのシステム開発（産学連携）	①要件定義		
	15	チームでのシステム開発（産学連携）	①要件定義		
	16	チームでのシステム開発（産学連携）	①要件定義		
	17	チームでのシステム開発（産学連携）	①要件定義		
	18	チームでのシステム開発（	①要件定義		

		産学連携)	
19	チームでのシステム開発 (産学連携)	① 要件定義	
20	チームでのシステム開発 (産学連携)	② 外部設計	
21	チームでのシステム開発 (産学連携)	② 外部設計	
22	チームでのシステム開発 (産学連携)	② 外部設計	
23	チームでのシステム開発 (産学連携)	② 外部設計	
24	チームでのシステム開発 (産学連携)	② 外部設計	
25	チームでのシステム開発 (産学連携)	② 外部設計	
26	チームでのシステム開発 (産学連携)	② 外部設計	
27	チームでのシステム開発 (産学連携)	② 外部設計	
28	チームでのシステム開発 (産学連携)	② 外部設計	
29	チームでのシステム開発 (産学連携)	② 外部設計	
30	チームでのシステム開発 (産学連携)	② 外部設計	
31	チームでのシステム開発 (産学連携)	② 外部設計	
32	チームでのシステム開発 (産学連携)	② 外部設計	
33	チームでのシステム開発 (産学連携)	② 外部設計	
34	チームでのシステム開発 (産学連携)	② 外部設計	
35	チームでのシステム開発 (産学連携)	② 外部設計	
36	チームでのシステム開発 (産学連携)	② 外部設計	
37	チームでのシステム開発 (産学連携)	② 外部設計	
38	チームでのシステム開発 (産学連携)	② 外部設計	

[illegible]

授業科目	チーム実践開発II	担当教員	坂本 耕一		
対象年次・学期	2年・後期	必修・選択区分	必修	単位数	
授業形態		授業回数	38回	時間数	75時間
授業目的	この授業は1年次までに学んだ学習スキルを生かして、企業や団体とともにシステム開発に取り組む「超実践プロジェクト」です。担当企業は顧客ユーザーと指導講師とを兼任します。システム開発に関する方法だけでなく、チームでの仕事の進め方や、企業で求められるビジネスマナーについても学ぶことも目的の一つである。				
到達目標	企業や団体から提案されたWebシステムコードを作成すること				
テキスト・参考図書等	特になし				
評価方法・評価基準	評価方法	評価割合(%)	評価基準		
	試験	0	レポートと課題提出・授業中の取り組み姿勢で評価する。		
	レポート	0			
	小テスト	0			
	提出物	80			
	その他	20			
履修上の留意事項	チーム制作ははグループで取り組む内容になります。一人一人がコミュニケーション（報告・連絡・確認・相談）をしっかりと意識し、決められた期限の中で必ず終了し、最終の報告プレゼンテーションに臨んでください。				
履修主題・履修内容	回	履修主題	履修内容		
	1	チームでのシステム開発（ 産学連携）	③ 詳細設計		
	2	チームでのシステム開発（ 産学連携）	③ 詳細設計		
	3	チームでのシステム開発（ 産学連携）	③ 詳細設計		
	4	チームでのシステム開発（ 産学連携）	③ 詳細設計		
	5	チームでのシステム開発（ 産学連携）	③ 詳細設計		
	6	チームでのシステム開発（ 産学連携）	③ 詳細設計		
	7	チームでのシステム開発（ 産学連携）	③ 詳細設計		
	8	チームでのシステム開発（ 産学連携）	③ 詳細設計		
	9	チームでのシステム開発（ 産学連携）	③ 詳細設計		
	10	チームでのシステム開発（ 産学連携）	③ 詳細設計		
	11	チームでのシステム開発（ 産学連携）	③ 詳細設計		
	12	チームでのシステム開発（ 産学連携）	③ 詳細設計		
	13	チームでのシステム開発（ 産学連携）	③ 詳細設計		
	14	チームでのシステム開発（ 産学連携）	③ 詳細設計		
	15	チームでのシステム開発（ 産学連携）	③ 詳細設計		
	16	チームでのシステム開発（ 産学連携）	③ 詳細設計		
	17	チームでのシステム開発（ 産学連携）	③ 詳細設計		
	18	チームでのシステム開発（	③ 詳細設計		

		産学連携)	
19	チームでのシステム開発 (産学連携)	③ 詳細設計	
20	チームでのシステム開発 (産学連携)	④ プログラミング	
21	チームでのシステム開発 (産学連携)	④ プログラミング	
22	チームでのシステム開発 (産学連携)	④ プログラミング	
23	チームでのシステム開発 (産学連携)	④ プログラミング	
24	チームでのシステム開発 (産学連携)	④ プログラミング	
25	チームでのシステム開発 (産学連携)	④ プログラミング	
26	チームでのシステム開発 (産学連携)	④ プログラミング	
27	チームでのシステム開発 (産学連携)	④ プログラミング	
28	チームでのシステム開発 (産学連携)	④ プログラミング	
29	チームでのシステム開発 (産学連携)	④ プログラミング	
30	チームでのシステム開発 (産学連携)	④ プログラミング	
31	チームでのシステム開発 (産学連携)	④ プログラミング	
32	チームでのシステム開発 (産学連携)	④ プログラミング	
33	チームでのシステム開発 (産学連携)	④ プログラミング	
34	チームでのシステム開発 (産学連携)	④ プログラミング	
35	チームでのシステム開発 (産学連携)	④ プログラミング	
36	チームでのシステム開発 (産学連携)	④ プログラミング	
37	チームでのシステム開発 (産学連携)	④ プログラミング	
38	チームでのシステム開発 (産学連携)	④ プログラミング	

[illegible]

授業科目	チーム実践開発Ⅲ		担当教員	坂本 耕一	
対象年次・学期	2年・後期		必修・選択区分	必修	単位数
授業形態			授業回数	38回	時間数 75時間
授業目的	この授業は1年次までに学んだ学習スキルを生かして、企業や団体とともにシステム開発に取り組む「超実践プロジェクト」です。担当企業は顧客ユーザーと指導講師とを兼任します。システム開発に関する方法だけでなく、チームでの仕事の進め方や、企業で求められるビジネスマナーについても学ぶことも目的の一つである。				
到達目標	企業や団体から提案されたWebシステムコードを作成・改修しシステムを完成させること。				
テキスト・参考図書等	特になし				
評価方法・評価基準	評価方法	評価割合(%)	評価基準		
	試験	0	課題提出・授業中の取り組み姿勢で評価する。		
	レポート	0			
	小テスト	0			
	提出物	80			
	その他	20			
履修上の留意事項	チーム制作はグループで取り組む内容になります。一人一人がコミュニケーション（報告・連絡・確認・相談）をしっかりと意識し、決められた期限の中で必ず終了し、最終の報告プレゼンテーションに臨んでください。				
履修主題・履修内容	回	履修主題	履修内容		
	1	チームでのシステム開発（ 産学連携）	⑤システムのリファクタリング・改修・改良		
	2	チームでのシステム開発（ 産学連携）	⑤システムのリファクタリング・改修・改良		
	3	チームでのシステム開発（ 産学連携）	⑤システムのリファクタリング・改修・改良		
	4	チームでのシステム開発（ 産学連携）	⑤システムのリファクタリング・改修・改良		
	5	チームでのシステム開発（ 産学連携）	⑤システムのリファクタリング・改修・改良		
	6	チームでのシステム開発（ 産学連携）	⑤システムのリファクタリング・改修・改良		
	7	チームでのシステム開発（ 産学連携）	⑤システムのリファクタリング・改修・改良		
	8	チームでのシステム開発（ 産学連携）	⑤システムのリファクタリング・改修・改良		
	9	チームでのシステム開発（ 産学連携）	⑤システムのリファクタリング・改修・改良		
	10	チームでのシステム開発（ 産学連携）	⑤システムのリファクタリング・改修・改良		
	11	チームでのシステム開発（ 産学連携）	⑤システムのリファクタリング・改修・改良		
	12	チームでのシステム開発（ 産学連携）	⑤システムのリファクタリング・改修・改良		
	13	チームでのシステム開発（ 産学連携）	⑤システムのリファクタリング・改修・改良		
	14	チームでのシステム開発（ 産学連携）	⑤システムのリファクタリング・改修・改良		
	15	チームでのシステム開発（ 産学連携）	⑤システムのリファクタリング・改修・改良		
	16	チームでのシステム開発（ 産学連携）	⑤システムのリファクタリング・改修・改良		
	17	チームでのシステム開発（ 産学連携）	⑤システムのリファクタリング・改修・改良		
	18	チームでのシステム開発（	⑤システムのリファクタリング・改修・改良		

		産学連携)	
19	チームでのシステム開発 (産学連携)	⑤ システムのリファクタリング・改修・改良	
20	チームでのシステム開発 (産学連携)	⑥ テスト	
21	チームでのシステム開発 (産学連携)	⑥ テスト	
22	チームでのシステム開発 (産学連携)	⑥ テスト	
23	チームでのシステム開発 (産学連携)	⑥ テスト	
24	チームでのシステム開発 (産学連携)	⑥ テスト	
25	チームでのシステム開発 (産学連携)	⑥ テスト	
26	チームでのシステム開発 (産学連携)	⑥ テスト	
27	チームでのシステム開発 (産学連携)	⑥ テスト	
28	チームでのシステム開発 (産学連携)	⑥ テスト	
29	チームでのシステム開発 (産学連携)	⑥ テスト	
30	チームでのシステム開発 (産学連携)	⑥ テスト	
31	チームでのシステム開発 (産学連携)	⑥ テスト	
32	チームでのシステム開発 (産学連携)	⑥ テスト	
33	チームでのシステム開発 (産学連携)	⑦ システムのプレゼンテーション準備	
34	チームでのシステム開発 (産学連携)	⑦ システムのプレゼンテーション準備	
35	チームでのシステム開発 (産学連携)	⑦ システムのプレゼンテーション準備	
36	チームでのシステム開発 (産学連携)	⑦ システムのプレゼンテーション準備	
37	チームでのシステム開発 (産学連携)	⑦ システムのプレゼンテーション準備	
38	チームでのシステム開発 (産学連携)	⑧ システムのプレゼンテーション	

[illegible]

授業科目	キャリアデザイン		担当教員	坂本 耕一	
対象年次・学期	2年・後期		必修・選択区分	必修	単位数
授業形態			授業回数	15回	時間数
授業目的	次年度から始まる就職活動へ向けた準備を行う。				
到達目標	企業研究、応募書類作成、面接対策を理解する				
テキスト・参考図書等	最新最強のCAB・GAB超速解法（'25年版）				
評価方法・評価基準	評価方法	評価割合(%)	評価基準		
	試験	0	授業への取り組み姿勢で評価します。		
	レポート	0			
	小テスト	0			
	提出物	0			
	その他	100			
履修上の留意事項					
履修主題・履修内容	回	履修主題	履修内容		
	1	企業を知る・業界を知る・挨拶等の基本動作	企業研究、就職サイトへの登録、挨拶、入退室等基本動作		
	2	企業を知る・業界を知る・挨拶等の基本動作	企業研究、就職サイトへの登録、挨拶、入退室等基本動作		
	3	企業を知る・業界を知る・挨拶等の基本動作	企業研究、就職サイトへの登録、挨拶、入退室等基本動作		
	4	企業を知る・業界を知る・挨拶等の基本動作	企業研究、就職サイトへの登録、挨拶、入退室等基本動作		
	5	企業を知る・業界を知る・挨拶等の基本動作	企業研究、就職サイトへの登録、挨拶、入退室等基本動作		
	6	提出書類対策	履歴書・エントリーシート作成		
	7	提出書類対策	履歴書・エントリーシート作成		
	8	提出書類対策	履歴書・エントリーシート作成		
	9	提出書類対策	履歴書・エントリーシート作成		
	10	提出書類対策	履歴書・エントリーシート作成		
	11	面接対策	自己PR作成、面接試験対策		
	12	面接対策	自己PR作成、面接試験対策		
	13	面接対策	自己PR作成、面接試験対策		
	14	面接対策	自己PR作成、面接試験対策		
	15	面接対策	自己PR作成、面接試験対策		

[illegible]